

貸借対照表

平成23年3月31日現在

公益財団法人月鉾保存会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,374,354	6,515,457	▲ 2,141,103
流動資産合計	4,374,354	6,515,457	▲ 2,141,103
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	20,000	▲ 20,000
建 物	110,340	110,340	0
土 地	32,435,000	32,435,000	0
月鉾及び附属什器備品一切	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	232,545,340	232,565,340	▲ 20,000
(2) 特定資産			
定期預金 (月鉾修繕積立資産)	10,090,886	10,070,886	20,000
特定資産合計	10,090,886		10,090,886
固定資産合計	242,636,226	242,636,226	0
資産合計	247,010,580	249,151,683	▲ 2,141,103
II 負債の部			
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	208,905,340	208,925,340	▲ 20,000
(うち基本財産への充当額)	(208,905,340)	(208,925,340)	(▲ 20,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	38,105,240	40,226,343	▲ 2,121,103
(うち基本財産への充当額)	(23,640,000)	(23,640,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(10,090,886)	(10,070,886)	(20,000)
正味財産合計	247,010,580	249,151,683	▲ 2,141,103
負債及び正味財産合計	247,010,580	249,151,683	▲ 2,141,103

注記

1. 重要な会計方針

- (1) 建物の減価償却は定額法とし、耐用年数を22年、残存価額は10%とする。
- (2) 月鉾及び附属什器備品一切は取替資産とする。半額法は適用せず取得価額をそのまま評価額として維持する。
- (3) 月鉾の修繕積立資金を特定資産に計上する。修繕の必要に応じて取崩し、上限は特に定めない。

2. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建 物	110,340	(70,340)	(40,000)	—
土 地	32,435,000	(8,835,000)	(23,600,000)	—
月鉾及び附属什器備品一切	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
小 計	232,545,340	(208,905,340)	(23,640,000)	—
特定資産				
定期預金	10,090,886	—	(10,090,886)	—
小 計	10,090,886	—	(10,090,886)	—
合 計	242,636,226	(208,905,340)	(33,730,886)	—

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物取得価額1,103,400円、建物減価償却累計額993,060円、建物当期末残高110,340円

4. その他

公益財団法人への移行により、前年度欄には移行臨時決算日(平成22年10月11日)の残高を記載する。

以上

附属明細書

基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	建 物	110,340	0	0	110,340
	土 地	32,435,000	0	0	32,435,000
	月銓及び附属什器備品一切	200,000,000	0	0	200,000,000
	基本財産計	232,545,340	0	0	232,545,340
特定資産	定期預金	10,070,886	20,000	0	10,090,886
	特定資産計	10,070,886	20,000	0	10,090,886

以上